

市民協働ってなあに??

2024-2025

市民、地域団体(町内会など)、市民活動団体、事業者、市が地域の課題を解決するために、それぞれの得意なことを活かして、協力することです。

協働の形の例

事業協力

事業共催

補助

委託



協働の形はいろいろあるんだね。
市民活動補助金は補助にあたるよ！

令和7年度は安城市市民活動補助金の**2次募集**
を開始したよ！
どのような事業の申請があったか見てみよう！

R7年度市民活動補助交付対象事業



その他の事業や、具体的な事業の実施日は
ここから見ることができるよ。

全17事業のうち一例

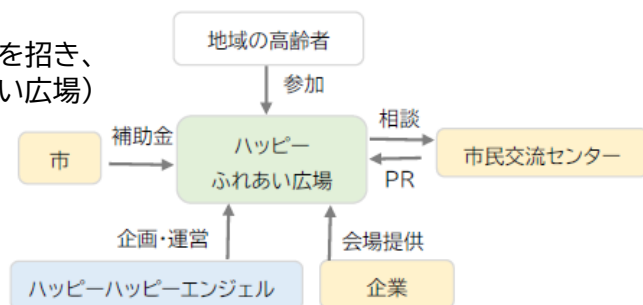
<井杭山卓ボラ会>

認知症予防やリハビリ効果があり、年齢・障害の有無に関わらず楽しむことのできる「卓球療法」を普及させることを目的に、講師を呼びサロンを開催。



<ハッピーハッピーエンジェル>

一人暮らしの高齢者が増える中、歌やゲーム、体操など指導者を招き、認知症予防、仲間づくりを目的にした居場所(ハッピーふれあい広場)を開催。



<一杯の味噌汁プロジェクト with 本證寺>

市内の休耕地を大豆畑として再生を図り、大豆栽培から味噌の仕込みに興味のある親子に対して、様々な体験を通して食や農について学ぶ「豆のがっこう」を開催。

<一般社団法人 安城市交響楽団>

協働相手：安城音楽協会、(株)安城スタイル、Anjo音楽のある一日実行委員会

少子化や部活動の地域移行が進み、若者が芸術文化に継続して親しむ機会が減っている。若者が芸術文化に親しむことができる楽団の整備及び指導者の確保を目的として、誰もが芸術文化に親しめる演奏会を開催。

市民協働を推進するために

こんなことをやっています！

一例を紹介するね！



「協働」して完成させよう！福笑い

R 6. 8 (七夕まつり、市民交流センターわくわくフェスティバル)

「指示役（顔の見本を見て口で顔の特徴を伝える人）」と「福笑いをつくる役（見本を見ずに指示役の説明を聞き、顔を完成させる人）」に分かれて、「見本の顔を完成させる」という同じ目的のもと協力して一つのものでつくるという「協働」の考え方をゲームを通して体感してもらいました。

あんじょう協働リビングラボ



R 6. 7 ~ R 7. 2

多種多様な方と関わり、新しい関係性の構築・アイデアを生み出す場としてワークショップを開催しました。地域課題を解決するため「情報格差の解消を目指した高齢者向けのスマホ講座」など4つの社会実験を行いました。

参加者の声

- ▶エネルギーのある方々に囲まれて、とても刺激的だった。
- ▶いろいろな人と交流ができ、協力して一つのプロジェクトをやるのができて楽しかった。
- ▶良い機会をもらい、やってみたかった社会実験ができた。この結果をベースに次の場にステップアップしたい。

令和7年度は「居場所づくり」をテーマとして開催中です！！
開催の様子を随時掲載しますので、ぜひご覧ください。



成果報告会&あんじょう協働リビングラボ交流会



R 7. 3. 8

市民活動補助金交付団体による成果報告会に併せてあんじょう協働リビングラボの参加者や、市民活動・社会実験に興味のある方とのざっくばらんな交流会を行いました。

参加者の声

- ▶新しい出会いがあった！
- ▶様々な活動をしている方の話が聞けて良かった。
- ▶安城をより良くしたいという方がたくさんいることが分かった。



(問合せ先) 安城市市民生活部市民協働課

☎ 0566-71-2218 F A X 0566-72-3741 ✉ kyodo@city.anjo.lg.jp